

- 1 期 間 令和元年〇月〇日 (〇) ~令和元年〇月〇日 (〇)
- 2 場 所 5 学年〇組教室
- 3 学年・組 5 学年〇組
- 4 単 元 名 Lesson6 「ほしいもの」
We Can!1 「What would you like?」

5 単元について

(1) 単元観

本単元は、ひろしま型カリキュラム Lesson6 「ほしいもの」と We Can!1 「What would you like?」を一つのまとまりとして扱う。

Lesson6 「ほしいもの」は、ほしいもの話題を“want”を用いて直接的に考えを伝えるような場面を設定することを通して、昆虫、は虫類、食べ物などの言い方やコミュニケーションを円滑にすることばに慣れることをねらいとしている。

また、外来語として馴染みのあることばが多く、日本語と英語の発音やリズム、アクセントの違いに気付かせ、ことばの由来への関心を高めることもねらっている。

We Can!1 「What would you like?」では、英語にも場面や相手に応じた丁寧な表現があることを学ぶ。日本語の場合もそうであるように、言葉は単に情報を伝えるだけではなく、場面や相手との関係によって使い分ける必要があるなど、英語にも適切な言葉の使用法があることを確認させるねらいがある。

日常生活の中で食べ物や衣類、遊び道具などの「ほしいもの」について伝え合うことは、児童にとって身近な出来事である。さらにその中で、児童はふだんから場面や相手との関係によって言葉を使い分けることもしている。このような身近な出来事を扱うことで、状況をイメージしやすく、自分のこととして考えることができる。そのため、本単元は自分の考えを相手に伝え、相手の考えを聞く、「やり取り」を行うのに適していると考えられる。

(2) 児童観

(略)

(3) 指導観

指導に当たっては、以下に示す4つの工夫を取り入れる。

ア フォーカス・オン・フォームの指導を取り入れた Small Talk の設定

自分の考えを伝え合うことができるようにするために、フォーカス・オン・フォームの手法を取り入れた Small Talk を毎時間学習活動として設定する。Small Talk は対話的な言語活動として新教材に設定されており、文部科学省も設定を促している。既習事項の定着を図り、対話を続けるための基本的な表現の定着を図るだけでなく、テーマについて自由に話をする中で、自分の考えを伝える機会を設けることができる。指導の際に適用するフォーカス・オン・フォームの手法については、以下の通りである。

| Small Talk の指導過程 | フォーカス・オン・フォームの手法 |
|--------------------|---|
| ① 教師と児童のやり取り | ア インพุットフラッド (input flood) …教えた言語項目がその中に頻繁に出てくるようにする イ リキャスト (recast) …学習者の間違いを教師が正しく言い直す |
| ② 児童と児童のやり取り (1回目) | ア タスクの繰り返し (task repetition) …同じ活動、もしくは似た活動を繰り返し行う |
| ③ 指導 | ア タスク後のモデル提示 (post-task modeling) …アウトプット活動の直後に、モデルとなるインプットを見せて、自己のアウトプットとモデルのインプットを比べさせる イ 活動後の振り返り (post-task reflection) …活動後に、もう一度振り返る時間を設け、内容面だけでなく、言語面の確認を行う |
| ④ 児童と児童のやり取り (2回目) | ア タスクの繰り返し (task repetition) …同じ活動、もしくは似た活動を繰り返し行う |

イ 対話方略の提示

Small Talk の指導の際、対話を続けるための手法として、「Smile」・「あいさつ」・「くり返し（たしかめ）」・「一言感想」・「さらに質問」という対話方略を5段階のレベルとして視覚的に示すことで、目指すレベルを明確にし、児童が見通しをもてるようにする。

ウ 視聴覚教材・ICT の活用

写真やイラストを効果的に活用することで、児童にイメージをもたせやすくし、自分に置き換えて考えられるようにする。そうすることで、伝えたい内容を考えたり、相手は何を考えたか予想したりし、やり取りにつなげる。また、音声教材を活用してネイティブ・スピーカーの音声に触れさせる。外国語独特のリズムやイントネーションに気付いたり、真似をしたりすることで、相手により伝わりやすい表現を身に付けることができるようにする。

エ 場面設定、導入の工夫

児童の生活場面・学習場面に関わりのあることから題材を選び、興味・関心をもたせるようにする。また、児童が伝えたいと思う内容について目的をもって聞いたり、話したりできるようにする。

6 単元目標

- ・ ほしいものを伝え合ったり、丁寧に注文したいものを尋ねたり答えたりして、自分の考えを伝え合うことができる。 (思考力、判断力、表現力等)
- (※ その他の観点に関わる目標は省略する)

7 関連する学習指導要領における領域別目標

| | |
|----------------|--|
| 話すこと (やり取り) | イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。 |
|----------------|--|

8 単元の評価規準

ほしいものを伝え合ったり、丁寧に注文したいものを尋ねたり答えたりして、自分の考えを伝え合うことができる。 (思考力、判断力、表現力等)

9 単元の指導計画

Lesson 6 「ほしいもの」

| 時 | ねらい (◆) と主な活動 (○) | ◎評価 (方法) |
|---|---|----------|
| 1 | ◆ ほしいものをたずねたり答えたりする表現が分かる。 | |
| | ○ Small Talk テーマ：動物 ○ 慣れ親しむ活動 ・ 発音練習、表現の練習、チェーンドリル ○ ふり返り | |
| 2 | ◆ ほしい食べ物をたずねたり答えたりする。 | |
| | ○ Small Talk テーマ：動物 ○ 前時のふり返り ○ 慣れ親しむ活動 ・ 食べ物や菓子類の発音の日本語と英語の言い方を比べる ・ 表現の練習 ○ コミュニケーション活動 ほしい食べ物について伝え合う ○ ふり返り | |
| 3 | ◆ ほしい食べ物を伝え合う。 | |
| | ○ Small Talk テーマ：食べ物 ○ 前時のふり返り ○ 慣れ親しむ活動 ・ カレーライスに入りたい具材を伝え合う ○ Writing ・ カレーライスに入りたい具材をワークシートに記入する ○ コミュニケーション活動 ・ ほしい材料を伝え、何の料理か予想する ○ ふり返り | |

We Can!1 「What would you like?」

| 時 | ねらい (◆) と主な活動 (○) | ◎評価 (方法) |
|----|--|------------------------------------|
| 4 | <p>◆ 丁寧にほしいものをたずねたり答えたりする表現が分かる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Small Talk テーマ：食べ物 ○ 前時のふり返し ○ Let's Watch and Think 2 ○ 慣れ親しむ活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Chant ・ 表現の練習 ・ ペアでシェフと客になり P60・61 のものを注文する ○ ふり返し | |
| 5 | <p>◆ 丁寧にほしいものをたずねたり答えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Small Talk テーマ：おかし ○ 前時のふり返し ○ 慣れ親しむ活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 表現の練習 ・ Let's Chant ○ コミュニケーション活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 食べたいメニューを注文し合う ○ Let's Listen 2 ○ ふり返し | |
| 6 | <p>◆ 値段をたずねたり答えたりする表現が分かる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Small Talk テーマ：給食メニュー ○ 前時のふり返し ○ Let's Listen 3 前時の復習と本時の内容に気付かせる ○ 慣れ親しむ活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 数字の言い方の練習 ・ 表現の練習 ○ コミュニケーション活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島県の施設の入園料をグループで予想し、並び替える ○ ふり返し | |
| 7 | <p>◆ オリジナルメニューを考え、伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Small Talk テーマ：ほしいもの ○ 前時のふり返し ○ 慣れ親しむ活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 食べ物の単語の練習 ・ Let's Chant ○ コミュニケーション活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が食べたいランチメニューを考える ・ Small Talk ランチメニューを伝え合う ○ ふり返し | |
| 8 | <p>◆ 先生のためのオリジナルメニューを考え、丁寧に注文したり答えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Small Talk テーマ：ほしいもの (1000 円) ○ 前時のふり返し ○ 慣れ親しむ活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ Let's Chant ・ 表現の復習 ○ コミュニケーション活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 先生のためのオリジナルメニューを考え、注文し合う ○ ふり返し | |
| 後日 | <p><事後調査></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2人ペアをつくり、ほしいものについてやり取りする | <p>◎ 思考力, 判断力, 表現力等 (事後調査)</p> |

10 言語材料

単語リスト「昆虫・は虫類など」「食べ物」「飲み物」「菓子類など」

What do you want? / I want ~.

What would you like? / I'd like ~.

How much (is it)? / It's ~ yen.

11 単元の評価規準の具体

| | 自分の考えを 伝えている | 対話方略 | | |
|---|------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|-----------------------------|
| | | くり返し | 一言感想 | さらに質問 |
| A | Bに加え、相手に ほしいものを尋ね ることができている。 | Bに加え、相手の 発話を[主語+動詞] でくり返している。 | 相手の発話に対し て「一言感想」を 言っている。 | 相手に文で「さら に質問」をしてい る。 |
| B | I want ~.を使用 し、ほしいものを 伝えている。 | 相手の発話をくり 返している。 | 相づちとして発話 している。 | 相手に単語で「さ らに質問」をして いる。 |
| C | ほしいものを伝え ていない。 | 相手の発話をくり 返していない。 | 「一言感想」を言 っていない。 | 「さらに質問」を していない。 |

ほしいものを伝え合ったり、丁寧に注文したいものを尋ねたり答えたりして、自分の考えを伝え合ったりすることができる。

(1) 評価方法

事後調査での発話内容を確認する。

※ 評価の手順：

- ① 2人ペアをつくり、2人（友達同士）で「誕生日にほしいもの」について伝え合うことを説明する。
- ② 2人ずつ部屋に入り、Small Talkと同じように、あいさつから始め、繰り返しや一言感想を用いながらほしいものについてやり取りをする。

(2) 評価規準の具体の発話例

相手の発言をくり返している。
A:「主語+動詞」でくり返している。

B評価の児童

A評価の児童

I want a game.

Game!

相手に単語で「さらに質問」
をしている。
A:相手に文で「さらに質問」
をしている。

Wii? 3DS? Switch?

I want 3DS.

3DS.

I want~を使用し、ほしいもの
を伝えている。
A:相手にたずねることもでき
ている。

I want a pen.

What do you want?

You want a pen.

相づちとして発話している。
A:相手の発話に対して「一言
感想」を言っている。

Yes.

I see.

What color do you want?

I want blue.

Lesson 6 単元名 ほしいもの 1 / 8時間
ねらい ほしいものを尋ねたり、答えたりする表現が分かる。

| 学習活動 | 指導者の支援及び指導上の留意点 | 評価規準 (評価方法) |
|---|---|----------------|
| <p>1 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語であいさつをしたり、教師の質問に答えたりする。 <p>T : Good morning, everyone. S : Good morning, ~先生. T : How are you? S : I'm fine, thank you. And you? T : I'm fine, thank you. How's the weather today? S : It's (sunny) and (hot). T : What day is it today? S : It's (Friday). T : What time is it? S : It's ○○a.m.</p> | <ul style="list-style-type: none"> 児童の英語への意識を高めるために、あいさつ、気分や天気、曜日などを教師が英語で尋ね、答えさせる。 | |
| <p>2 Small Talk : 動物</p> <p>(1) Small Talk について知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>Small Talk</p> </div> <p>(2) 教師とやり取りし、見通しをもつ。</p> <p>(3) 児童同士でやり取りする。(1回目)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>あいさつ A : Hello. B : Hi. A : How are you? B : I'm ~ and you? A : I'm ~. Let's talk about animal. B : OK.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>動物 A : Do you like animals? B : Yes, I do. A : I like dogs. A : What animal do you like? B : I like tigers.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>あいさつ A : Nice talking to you. B : You, too.</p> </div> <p>(4) 活動を想起する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ペアで行う活動であることを知らせ、活動の流れを提示し、把握させる。 5段階の対話方略を提示し、児童に活動の見通しをもたせる。 活動の見通しをもたせ、既習表現や対話方略に気付かせるために、数名の児童とやり取りする。(① - ア) 個人とのやり取りだけでなく、対話をしていない児童を巻き込むことで、気付きを促す。(① - ア) 児童の言い間違いを正しく言い直したり、児童が理解しやすい英語に言い換えたりして話す。(① - イ) 友達の表現を参考にしたり、自分が上手く言うことができない単語や表現に気付かせたりするために、2人の児童とSmall Talkを行わせる。(② - ア) 児童が困ったことや難しかったことを引き出し、できるだけ児童の言葉で表現させ、言語面の確認を行う。(③ - イ) 対話方略の笑顔・あいさつができたかを確認し、2回目の活動で意識させる。(③ - ア) 想起しようとしたことや挑戦しようとしたことを大いに認め、児童の意欲を向上させる。 | |

| | | |
|--|---|--|
| <p>(5) 児童同士でやり取りする。(2回目)</p> <p>(6) ふり返りを行う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> • できなかった部分をうまく言ったり、使えなかった表現を使ったりすることができるように、同じテーマでくり返し Small Talkを行わせる。(④ - ア) • 次時への活動につなげるために、自己評価させ、できたことや難しかったことをふり返らせる。 | |
| <p>3 学習課題の提示</p> <ul style="list-style-type: none"> • 本時の学習課題を知る。 | <ul style="list-style-type: none"> • 教師の会話モデルを示す際に、写真を用いて飼いたいペットを紹介することで、本時の学習内容のイメージをもたせる。 • 会話モデルをふり返って新たな表現に気付かせる。 | |
| <p>ほしいものをたずねたり答えたりする言い方を知ろう。</p> | | |
| <p>4 慣れ親しむ活動</p> <p>(1) 動物や昆虫、は虫類の単語を確認し、発音練習をする。</p> <p>(2) ほしいものをたずねたり答えたりする表現を練習する。 What do you want? I want a ~.</p> <p>(3) 自分で飼いたいペットを決めてワークシートに記入し、チェーンドリル(1人ずつ質問応答をくり返していく活動)をする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 自分に当てはめて考えさせるために、ペットにしたいかどうか確認しながら単語の発音をさせる。 • 新しい表現に慣れ親しませるために、表現を繰り返したり、児童を2グループに分けて発音させたりして、練習させる。 • want を使った表現に慣れるために、チェーンドリルを行わせる。 • 英語で言うことが難しいものは、日本語で表現してもよいことを伝える。 | |
| <p>5 ふり返り・あいさつ</p> <p>(1) ふり返りカードに分かったことやできるようになったこと、疑問に思ったことなどを書く。</p> <p>(2) あいさつをする。 T : That's all for today. Good bye, everyone. S : Good bye, ~先生. T : See you, next Friday.</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 今日の授業でできるようになったことや、疑問に思ったことなどを自覚させる。 • 自分にはない視点でふり返り、学習内容をより深めることができるよう、数名の児童に発表させる。 | |

板書計画

| | | | |
|---|---------------|---|---|
| Big Voice | Speak Clearly | ほしいものをたずねたり答えたりする言い方を知ろう。 What do you want? I want a ~. | <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 絵カード </div> |
| Big Smile | Reaction | | |
| Eye contact | Gesture | | |
| Today's menu 1 あいさつ 2 Small Talk 3 慣れ親しよう! 4 ふりかえり 5 あいさつ | | | |

| 学習活動 | 指導者の支援及び指導上の留意点 | 評価規準 (評価方法) |
|--|---|----------------|
| <p>1 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語であいさつをしたり，教師の質問に答えたりする。 <p>T : Good morning, everyone. S : Good morning, ~先生. T : How are you? S : I'm fine, thank you. And you? T : I'm fine, thank you. How's the weather today? S : It's (sunny) and (hot). T : What day is it today? S : It's (Friday). T : What time is it? S : It's ○○a.m.</p> | <ul style="list-style-type: none"> 児童の英語への意識を高めるために，あいさつ，気分や天気，曜日などを教師が英語で尋ね，答えさせる。 | |
| <p>2 Small Talk : 動物</p> <p>(1) 前時のふり返りを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;">Small Talk</div> <p>(2) 教師とやり取りし，見通しをもつ。</p> <p>(3) 児童同士でやり取りする。(1回目)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>あいさつ A : Hello. B : Hi. A : How are you? B : I'm ~ and you? A : I'm ~. Let's talk about animal. B : OK.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>動物 A : Do you like animals? B : Yes, I do. A : I like dogs. B : You like dogs. くり返し A : What animal do you like? B : I like tigers. A : You like tigers. くり返し</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>あいさつ A : Nice talking to you. B : You, too.</p> </div> <p>(4) 活動を想起する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 前時のふり返りを紹介し，努力しようとしている姿勢を褒めたり，難しいという気持ちに共感したりして，活動への意欲をもたせる。 活動の見通しをもたせ，既習表現や対話方略に気付かせるために，数名の児童とやり取りする。(① - ア) 個人とのやり取りだけでなく，対話をしていない児童を巻き込むことで，気付きを促す。(① - ア) 児童の言い間違いを正しく言い直したり，児童が理解しやすい英語に言い換えたりして話す。(① - イ) 友達の表現を参考にしたり，自分が上手く言うことができない単語や表現に気付かせたりするために，2人の児童とSmall Talkを行わせる。(② - ア) 児童が困ったことや難しかったことを引き出し，できるだけ児童の言葉で表現させ，言語面の確認を行う。(③ - イ) 対話方略のくり返しができたかを確認し，2回目の活動で意識させる。(③ - ア) 想起しようとしたことや挑戦しようとしたことを大いに認め，児童の意欲を向上させる。 | |

| | | |
|--|---|--|
| <p>(5) 児童同士でやり取りする。(2回目)</p> | <ul style="list-style-type: none"> • できなかった部分をうまく言ったり、使えなかった表現を使ったりすることができるように、同じテーマでくり返し Small Talkを行わせる。(④ - ア) | |
| <p>(6) ふり返りを行う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 次時への活動につなげるために、自己評価させ、できたことや難しかったことをふり返らせる。 | |
| <p>3 学習課題の提示</p> <p>(1) 前時のふり返りを行う。</p> <p>(2) 本時の学習課題を知る。</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 前時の児童のワークシートからふり返りを紹介し、良い気付きや難しかったことを共有させる。 • 自分の誕生日に何が食べたいかを話し、児童にも尋ねることで、本時の学習内容のイメージをもたせる。 | |
| <p>ほしい食べ物をたずねたり答えたりしよう。</p> | | |
| <p>4 慣れ親しむ活動</p> <p>(1) 食べ物や菓子類の単語を確認し、発音練習をする。</p> <p>(2) ほしい食べ物をたずねたり答えたりする言い方を練習する。 What do you want? I want a ~.</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 日本語と英語の言い方の違いに注目させながら、食べ物や菓子類の単語を発音させる。 • 児童が自信をもって言えるようにするために、表現を繰り返したり、児童を2グループに分けて発音させたりして、練習させる。 | |
| <p>5 コミュニケーション活動</p> <p>(1) ワークシートに自分の Special Menu を記入する。</p> <p>(2) 友達とお互いに Special Menu を伝え合い、聞き取ったことをワークシートに記入する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 自分が本当に食べたいと思うメニューにするために、自由に選ばせる。英語で言えない場合は日本語で表現してもよいことを伝える。 • 思い浮かばない児童には、副読本を参考にしてもよいことを伝える。 • 活動の様子を見守り、上手くやり取りができていない児童には支援を行う。 | |
| <p>6 ふり返り・あいさつ</p> <p>(1) ふり返りカードに分かったことやできるようになったこと、疑問に思ったことなどを書く。</p> <p>(2) あいさつをする。 T : That's all for today. Good bye, everyone. S : Good bye, ~先生. T : See you, next Friday.</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 今日の授業でできるようになったことや、疑問に思ったことなどを自覚させる。 • 自分にはない視点でふり返り、学習内容をより深めることができるよう、数名の児童に発表させる。 | |

板書計画

| | | | |
|---|---------------|--|--|
| Big Voice | Speak Clearly | ほしい食べ物をたずねたり答えたりしよう。 What do you want? I want ~. | <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 80%; height: 80%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 絵カード </div> </div> |
| Big Smile | Reaction | | |
| Eye contact | Gesture | | |
| Today's menu 1 あいさつ 2 Small Talk 3 慣れ親しもう！ 4 コミュニケーション活動 5 ふりかえり 6 あいさつ | | | |

| 学習活動 | 指導者の支援及び指導上の留意点 | 評価規準 (評価方法) |
|---|---|----------------|
| <p>1 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語であいさつをしたり，教師の質問に答えたりする。 <p>T : Good morning, everyone. S : Good morning, ~先生. T : How are you? S : I'm fine, thank you. And you? T : I'm fine, thank you. How's the weather today? S : It's (sunny) and (hot). T : What day is it today? S : It's (Monday). T : What time is it? S : It's ○○a.m.</p> | <ul style="list-style-type: none"> 児童の英語への意識を高めるために，あいさつ，気分や天気，曜日などを教師が英語で尋ね，答えさせる。 | |
| <p>2 Small Talk : 食べ物</p> <p>(1) 前時のふり返りを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>Small Talk</p> </div> <p>(2) 教師とやり取りし，見通しをもつ。</p> <p>(3) 児童同士でやり取りする。(1回目)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>あいさつ</p> <p>A : Hello. B : Hi. A : How are you? B : I'm ~ and you? A : I'm ~. Let's talk about food. B : OK.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>食べ物</p> <p>A : Do you like fruits? B : Yes, I do. A : I like grapes. B : You like grapes. くり返し A : What fruit do you like? B : I like bananas. A : You like bananas. くり返し</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>あいさつ</p> <p>A : Nice talking to you. B : You, too.</p> </div> <p>(4) 活動を想起する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 前時のふり返りを紹介し，努力しようとしている姿勢を褒めたり，難しいという気持ちに共感したりして，活動への意欲をもたせる。 活動の見通しをもたせ，既習表現や対話方略に気付かせるために，数名の児童とやり取りする。(① - ア) 個人とのやり取りだけでなく，対話をしていない児童を巻き込むことで，気付きを促す。(① - ア) 児童の言い間違いを正しく言い直したり，児童が理解しやすい英語に言い換えたりして話す。(① - イ) 友達の表現を参考にしたり，自分が上手く表現できないことに気付かせたりするために，2人の児童とSmall Talkを行わせる。(② - ア) 児童が困ったことや難しかったことを引き出し，できるだけ児童の言葉で表現させ，言語面の確認を行う。(③ - イ) 対話方略のくり返しができたかを確認し，2回目の活動で意識させる。(③ - ア) 想起しようとしたことや挑戦しようとしたことを大いに認め，児童の意欲を向上させる。 | |

| | | |
|--|--|--|
| <p>(5) 児童同士でやり取りする。(2回目)</p> <p>(6) ふり返りを行う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> • できなかった部分をうまく言ったり、使えなかった表現を使ったりすることを意識して取り組むことができるように、1回目とは異なる2人とSmall Talkを行わせる。(④-ア) • 次時への活動につなげるために、自己評価させ、できたことや難しかったことをふり返らせる。 | |
| <p>3 学習課題の提示</p> <p>(1) 前時のふり返りを行う。</p> <p>(2) 本時の学習課題を知る。</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 前時の児童のワークシートからふり返りを紹介し、良い気付きや難しかったことを共有させる。 • 野外炊飯の話をし、カレーライスに入りたい食材を児童に考えさせることで、本時の学習内容のイメージをもたせる。 | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">ほしい食べ物を伝え合おう。</div> | | |
| <p>4 慣れ親しむ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> • カレーライスに入りたい食材について2人組で伝え合う。 <p>What do you want? I want a ~.</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 児童に見通しをもたせるために、数名の児童とやり取りし、言い方の確認をする。 • お互いに伝え合う際に、くり返しも意識させるようにする。 | |
| <p>5 書く活動</p> <ul style="list-style-type: none"> • カレーライスに入りたい食材を3つ選びワークシートに記入する。 | <ul style="list-style-type: none"> • 副読本を見ながら、語句を書き写すように伝える。 • 分からない単語は日本語(ローマ字)でもよいことを伝える。 | |
| <p>6 コミュニケーション活動 (グループ活動)</p> <p>(1) 料理名を見てグループで相談し、ほしい食材を5つ考える。</p> <p>(2) ペアグループをつくり、片方のグループが「What do you want?」とたずね、もう片方のグループが「I want a ~.」と5つの食材を答える。</p> <p>(3) たずねたグループは、何の料理かを考え答える。</p> <p>(4) グループの役割を交代する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> • どんな食材がほしいのかグループで考えさせることで、児童の実生活に基づいた様々な考えを交流させる。 • 活動の様子を見守り、上手くやり取りができていない児童には支援を行う。 | |
| <p>7 ふり返り・あいさつ</p> <p>(1) ふり返りカードに分かったことやできるようになったこと、疑問に思ったことなどを書く。</p> <p>(2) あいさつをする。</p> <p>T: That's all for today. Good bye, everyone. S: Good bye, ~先生. T: See you, next Friday.</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 今日の授業でできるようになったことや、疑問に思ったことなどを自覚させる。 • 自分にはない視点でふり返り、学習内容をより深めることができるよう、数名の児童に発表させる。 | |

板書計画

| | | | |
|--|---------------|---|---|
| Big Voice | Speak Clearly | ほしい食べ物を伝え合おう。 What do you want? I want a ~. | <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 絵カード </div> |
| Big Smile | Reaction | | |
| Eye contact | Gesture | | |
| Today's menu 1 あいさつ 2 Small Talk 3 慣れ親しもう！ 4 コミュニケーション活動 5 ふりかえり 6 あいさつ | | | |

| 学習活動 | 指導者の支援及び指導上の留意点 | 評価規準 (評価方法) |
|---|--|----------------|
| <p>1 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語であいさつをしたり，教師の質問に答えたりする。 <p>T : Good morning, everyone. S : Good morning, ~先生. T : How are you? S : I'm fine, thank you. And you? T : I'm fine, thank you. How's the weather today? S : It's (sunny) and (hot). T : What day is it today? S : It's (Friday). T : What time is it? S : It's ○○a.m.</p> | <ul style="list-style-type: none"> 児童の英語への意識を高めるために，あいさつ，気分や天気，曜日などを教師が英語で尋ね，答えさせる。 | |
| <p>2 Small Talk : 食べ物 (Japanese food)</p> <p>(1) 前時のふり返しを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">Small Talk</p> </div> <p>(2) 教師とやり取りし，見通しをもつ。</p> <p>(3) 児童同士でやり取りする。(1回目)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>あいさつ</p> <p>A : Hello. B : Hi. A : How are you? B : I'm ~ and you? A : I'm ~. Let's talk about Japanese food. B : OK.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>食べ物 (Japanese food)</p> <p>A : Do you like Japanese food? B : Yes, I do. A : I want sushi. B : You want sushi. くり返し That's nice. 一言感想 A : What do you want? B : I want tempura. A : You want tempura. くり返し I see. 一言感想</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>あいさつ</p> <p>A : Nice talking to you. B : You, too.</p> </div> <p>(4) 活動を想起する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 前時のふり返しを紹介し，努力しようとしている姿勢を褒めたり，難しいという気持ちに共感したりして，活動への意欲をもたせる。 活動の見通しをもたせ，既習表現や対話方略に気付かせるために，教師が数名の児童とやり取りする。(① - ア) 個人とのやり取りだけでなく，対話をしていない児童を巻き込むことで，気付きを促す。(① - ア) 児童の言い間違いを正しく言い直したり，児童が理解しやすい英語に言い換えたりして話す。(① - イ) 友達の表現を参考にしたり，自分が上手く言うことができない単語や表現に気付かせたりするために，2人の児童とSmall Talkを行わせる。(② - ア) 児童が困ったことや難しかったことを引き出し，できるだけ児童の言葉で表現させ，言語面の確認を行う。(③ - イ) 児童が自分の気持ちを言い表せるように，一言感想に使用できる表現を紹介する。 | |

| | | |
|--|--|--|
| <p>(5) 児童同士でやり取りする。(2回目)</p> <p>(6) ふり返りを行う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 対話方略のくり返し・一言感想が言えたかを確認し、2回目の活動で意識させる。(③-ア) ・ 想起しようとしたことや挑戦しようとしたことを大いに認め、児童の意欲を向上させる。 ・ できなかった部分をうまく言ったり、使えなかった表現を使ったりすることができるように、同じテーマでくり返しSmall Talkを行わせる。(④-ア) ・ 次時への活動につなげるために、自己評価させ、できたことや難しかったことをふり返らせる。 | |
| <p>3 学習課題の提示</p> <p>(1) 前時のふり返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P60・61の絵を見て、ペアでほしいものを伝え合う。 <p>(2) Let's Listen 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音声聞いて、こうせいの母が選んだものを聞き取る。 ・ シェフや母の言い方に注意して音声を聞く。 <p>(3) 本時の学習課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> ていねいにほしいものをたずねたり答えたりする言い方を知ろう。 </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の児童のワークシートからふり返りを紹介し、良い気付きや難しかったことを共有させる。 ・ 副読本を使用し、前時までに学習した表現を思い出させる。 ・ 必要な情報を聞き取ることができるように、視覚的にヒントを与えたり、聞かせる部分を絞ったりして、音声を何度か聞かせる。 ・ 前時までとの違いに気付かせるために、シェフのたずね方、母の答え方に注意して聞くよう指示を出す。 | |
| <p>4 慣れ親しむ活動</p> <p>(1) Let's Chant</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1回目は聞き、練習した後、2回目に音声に合わせて言う。 <p>(2) ていねいにほしい物をたずねたり答えたりする言い方を練習する。</p> <p>What would you like? I'd like ~.</p> <p>(3) シェフと客になり、P60・61の中からほしい物を伝える。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 丁寧な言い方に慣れさせるために、音声を使用し、リズムに合わせて練習させる。 ・ 新しい表現に慣れ親しませるために、表現を繰り返したり、児童を2つのグループに分けて発音させたりして、練習させる。 ・ 実際の場面をイメージしながら、新しい表現を使用させるために、役割分担して活動させる。 ・ 困っている児童には、言い方の手本を示し、支援する。 | |
| <p>5 ふり返り・あいさつ</p> <p>(1) ふり返りカードに分かったことやできるようになったこと、疑問に思ったことなどを書く。</p> <p>(2) あいさつをする。</p> <p>T: That's all for today. Good bye, everyone. S: Good bye, ~先生. T: See you, next Wednesday.</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 今日の授業でできるようになったことや、疑問に思ったことなどを自覚させる。 ・ 自分にはない視点でふり返り、学習内容をより深めることができるよう、数名の児童に発表させる。 | |

板書計画

Big Voice

Speak Clearly

ていねいにほしいものをたずねたり答えたりする言い方を知ろう。

Big Smile

Reaction

Eye contact

Gesture

What would you like?

I'd like～.

絵カード

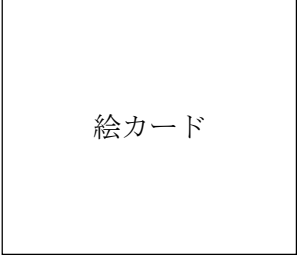
Today's menu

- 1 あいさつ
- 2 Small Talk
- 3 慣れ親しもう！
- 4 ふりかえり
- 5 あいさつ

| 学習活動 | 指導者の支援及び指導上の留意点 | 評価規準 (評価方法) |
|--|--|----------------|
| <p>1 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語であいさつをしたり，教師の質問に答えたりする。 <p>T : Good morning, everyone. S : Good morning, ~先生. T : How are you? S : I'm fine, thank you. And you? T : I'm fine, thank you. How's the weather today? S : It's (sunny) and (hot). T : What day is it today? S : It's (Wednesday). T : What time is it? S : It's ○○a.m.</p> | <ul style="list-style-type: none"> 児童の英語への意識を高めるために，あいさつ，気分や天気，曜日などを教師が英語で尋ね，答えさせる。 | |
| <p>2 Small Talk : おかし(Halloween)</p> <p>(1) 前時のふり返しを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;">Small Talk</div> <p>(2) 教師とやり取りし，見通しをもつ。</p> <p>(3) 児童同士でやり取りする。(1回目)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>あいさつ A : Hello. B : Hi. A : How are you? B : I'm ~ and you? A : I'm ~. Let's talk about sweets. B : OK.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>おかし A : I want chocolate. B : You want chocolate. くり返し That's nice. 一言感想 A : What do you want? B : I want potato chips. A : You want potato chips. くり返し I see. 一言感想</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>あいさつ A : Nice talking to you. B : You, too.</p> </div> <p>(4) 活動を想起する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 前時のふり返しを紹介し，努力しようとしている姿勢を褒めたり，難しいという気持ちに共感したりして，活動への意欲をもたせる。 活動の見通しをもたせ，既習表現や対話方略に気付かせるために，教師が数名の児童とやり取りする。(① - ア) 個人とのやり取りだけでなく，対話をしていない児童を巻き込むことで，気付きを促す。(① - ア) 児童の言い間違いを正しく言い直したり，児童が理解しやすい英語に言い換えたりして話す。(① - イ) 友達の表現を参考にしたり，自分が上手く言うことができない単語や表現に気付かせたりするために，2人の児童とSmall Talkを行わせる。(② - ア) | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 児童が困ったことや難しかったことを引き出し，できるだけ児童の言葉で表現させ，言語面の確認を行う。(③ - イ) 対話方略のくり返し・一言感想が言えたかを確認し，2回目の活動で意識させる。(③ - ア) 想起しようとしたことや挑戦しようとしたことを大いに認め，児童の意欲を向上させる。 | |

| | | |
|--|--|--|
| <p>(5) 児童同士でやり取りする。(2回目)</p> | <ul style="list-style-type: none"> • できなかった部分をうまく言ったり、使えなかった表現を使ったりすることができるように、同じテーマでくり返し Small Talkを行わせる。(④ - ア) | |
| <p>(6) ふり返りを行う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 次時への活動につなげるために、自己評価させ、できたことや難しかったことをふり返らせる。 | |
| <p>3 学習課題の提示</p> <p>(1) 前時のふり返りを行う。</p> <p>(2) 本時の学習課題を知る。</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 前時の児童のワークシートからふり返りを紹介し、良い気付きや難しかったことを共有させる。 | |
| <p>ていねいにほしいものをたずねたり答えたりしよう。</p> | | |
| <p>4 慣れ親しむ活動</p> <p>(1) Let' s Chant</p> <p>(2) ていねいにほしい物をたずねたり答えたりする言い方を練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • イラストを見て、先生と話をする場面のやり取りを考える。 <p>T : What would you like? S : I'd like glue. T : What would you like? S : I'd like scissors. T : What would you like? S : I'd like pencils.</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 丁寧な言い方やリズムを思い出させるために、音声に合わせて練習させる。 • 児童の実態に応じて音声のスピードを調整し、丁寧な言い方に慣れさせる。 • would を用いた表現を学習した場面以外にも使用できるようにするため、お店で注文する場面だけでなく、日常の中で丁寧な言葉で話す場面を想起させる。 • イメージしやすいように、イラストを提示して場面把握させ、丁寧な言い方で表現させる。 | |
| <p>5 コミュニケーション活動 (ペア活動)</p> <p>(1) 客と店員に分かれる。</p> <p>(2) 客はメインディッシュ・サイドディッシュ・デザート・ドリンクから品物を選び、店員に伝える。</p> <p>(3) 店員は、メニューを聞き取った後、ワークシートに○をつけ、客に渡す。 店員…stuff 客…customer</p> <p>S : Hello. What would you like? C : I'd like hamburger, fried chicken, ice cream and orange juice. S : You'd like hamburger, fried chicken, ice cream and orange juice. OK. S : Here you are. C : Thank you.</p> | <ul style="list-style-type: none"> • メニュー1つ1つを発音し、どのように言えばよいかを確認させる。 • 活動前に教師が店員となり、数名の児童とやり取りすることで、活動の見通しをもたせる。 • 通常のお店でも、店員が注文をくり返していることを思い出させ、くり返しを意識させる。 | |
| <p>6 Let' s Listen 2</p> <ul style="list-style-type: none"> • P60のおばあさんが注文したものを聞き取り、教科書に記入する。 | <ul style="list-style-type: none"> • 学習した表現を復習し、定着させるために、音声教材を使用する。 • 必要な情報を聞き取ることができるように、視覚的にヒントを与えたり、音声を止めたりして、音声を何度か聞かせる。 | |
| <p>7 ふり返り・あいさつ</p> <p>(1) ふり返りカードに分かったことやできるようになったこと、疑問に思ったことなどを書く。</p> <p>(2) あいさつをする。</p> <p>T : That's all for today. Good bye, everyone. S : Good bye, ~先生. T : See you, next Friday.</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 今日の授業でできるようになったことや、疑問に思ったことなどを自覚させる。 • 自分にはない視点でふり返り、学習内容をより深めることができるよう、数名の児童に発表させる。 | |

板書計画

| | | | |
|---------------|---------------|--------------------------|---|
| Big Voice | Speak Clearly | ていねいにほしいものをたずねたり答えたりしよう。 |  |
| Big Smile | Reaction | | |
| Eye contact | Gesture | | |
| Today's menu | | What would you like? | |
| 1 あいさつ | | I'd like～. | |
| 2 Small Talk | | | |
| 3 慣れ親しもう! | | | |
| 4 コミュニケーション活動 | | | |
| 5 ふりかえり | | | |
| 6 あいさつ | | | |

| 学習活動 | 指導者の支援及び指導上の留意点 | 評価規準 (評価方法) |
|--|--|----------------|
| <p>1 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語であいさつをしたり，教師の質問に答えたりする。 <p>T : Good morning, everyone. S : Good morning, ~先生. T : How are you? S : I'm fine, thank you. And you? T : I'm fine, thank you. How's the weather today? S : It's (sunny) and (hot). T : What day is it today? S : It's (Friday). T : What time is it? S : It's ○○a.m.</p> | <ul style="list-style-type: none"> 児童の英語への意識を高めるために，あいさつ，気分や天気，曜日などを教師が英語で尋ね，答えさせる。 | |
| <p>2 Small Talk : 給食</p> <p>(1) 前時のふり返りを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>Small Talk</p> </div> <p>(2) 教師とやり取りし，見通しをもつ。</p> <p>(3) 児童同士でやり取りする。(1回目)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>あいさつ</p> <p>A : Hello. B : Hi. A : How are you? B : I'm ~ and you? A : I'm ~. Let's talk about school lunch. B : OK.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>給食</p> <p>A : I want curry and rice. B : You want curry and rice. くり返し Why? さらに質問 A : It's delicious. B : That's good. 一言感想 A : What do you want? B : I want cocoa bread. A : Me, too. 一言感想 You want cocoa bread. くり返し Why? さらに質問 B : It's sweet.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>あいさつ</p> <p>A : Nice talking to you. B : You, too.</p> </div> <p>(4) 活動を想起する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 前時のふり返りを紹介し，努力しようとしている姿勢を褒めたり，難しいという気持ちに共感したりして，活動への意欲をもたせる。 活動の見通しをもたせ，既習表現や対話方略に気付かせるために，教師が数名の児童とやり取りする。(① - ア) 個人とのやり取りだけでなく，対話をしていない児童を巻き込むことで，気付きを促す。(① - ア) 児童の言い間違いを正しく言い直したり，児童が理解しやすい英語に言い換えたりして話す。(① - イ) 友達の表現を参考にしたり，自分が上手く言うことができない単語や表現に気付かせたりするために，2人の児童とSmall Talkを行わせる。(② - ア) | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 児童が困ったことや難しかったことを引き出し，できるだけ児童の言葉で表現させ，言語面の確認を行う。(③ - イ) | |

| | | |
|---|---|--|
| <p>(5) 児童同士でやり取りする。(2回目)</p> <p>(6) ふり返りを行う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 対話方略を使い、さらに質問が言えたかを確認し、2回目の活動で意識させる。(③-ア) ・ さらに質問できるように、既習の質問の仕方を思い出させ、Why?という質問も提示する。 ・ 想起しようとしたことや挑戦しようとしたことを大いに認め、児童の意欲を向上させる。 ・ できなかった部分をうまく言ったり、使えなかった表現を使ったりすることができるように、同じテーマでくり返しSmall Talkを行わせる。(④-ア) ・ 次時への活動につなげるために、自己評価させ、できたことや難しかったことをふり返らせる。 | |
| <p>3 学習課題の提示</p> <p>(1) 前時のふり返りを行う。</p> <p>(2) Let's Listen 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P61のおじいさんが注文したものを聞き取り、副読本に記入する。 ・ 本時の学習課題に気付く。 <p>(3) 本時の学習課題を知る。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の児童のワークシートからふり返りを紹介し、良い気付きや難しかったことを共有させる。 ・ 必要な情報を確実に聞き取ることができるよう、あらかじめ聞き取る視点を確認するとともに、音声を何度か聞かせる。 ・ yenや数値の表現が使われていることや場面・状況を確認し、本時の学習課題につなげる。 | |
| <p>値段をたずねたり答えたりする言い方を知ろう。</p> | | |
| <p>4 慣れ親しむ活動</p> <p>(1) 数の言い方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 0~100を10ずつ ・ 100~900を100ずつ ・ 100~200を10ずつ ・ 200~300を10ずつ <p>(2) 値段をたずねたり答えたりする言い方を練習する。</p> <p>How much? It's ○○ yen.</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 10単位、100単位で確認した後、合わせた数の言い方を確認することで、言い方の規則性に気付かせる。 ・ 児童が数の言い方に慣れ親しむことができるよう、パターンを変えながら繰り返し練習させる。 ・ 値段のたずね方や答え方に慣れるために、全体で練習した後に、児童を2つのグループに分け、繰り返し声に出して練習させる。 ・ 表現にさらに親しませるために、児童にとって身近なものの写真を見せ、ものの値段を考えさせる。 | |
| <p>5 コミュニケーション活動 (グループ活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島県にある施設の入場料(1000円未満)をグループで予想し、安い順番に並べる。 <p>S1: How much? S2: It's 340 yen. S3: It's 250 yen. S4: It's 300 yen. S1: Mmm... It's 310yen, OK? S2: How much? : :</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 値段のたずね方や答え方、数字の言い方に親しませるために、施設の入場料を英語のみで予想させる。 ・ 児童の様子に応じてヒントを与え、値段の検討をつけさせ、グループ交流を活性化させる。 | |

| | | |
|---|---|--|
| <p>6 ふり返り・あいさつ</p> <p>(1) ふり返りカードに分かったことやできるようになったこと、疑問に思ったことなどを書く。</p> <p>(2) あいさつをする。 T : That's all for today. Good bye, everyone. S : Good bye, ~先生. T : See you, next Wednesday.</p> | <ul style="list-style-type: none"> 今日の授業でできるようになったことや、疑問に思ったことなどを自覚させる。 自分にはない視点でふり返り、学習内容をより深めることができるよう、数名の児童に発表させる。 | |
|---|---|--|

板書計画

| | | |
|---------------|---------------|------------------------|
| Big Voice | Speak Clearly | 値段をたずねたり答えたりする言い方を知ろう。 |
| Big Smile | Reaction | How much? |
| Eye contact | Gesture | It's ~ yen. |
| Today's menu | | 絵カード |
| 1 あいさつ | | |
| 2 Small Talk | | |
| 3 慣れ親しもう！ | | |
| 4 コミュニケーション活動 | | |
| 5 ふりかえり | | |
| 6 あいさつ | | |

| 学習活動 | 指導者の支援及び指導上の留意点 | 評価規準 (評価方法) |
|---|--|----------------|
| <p>1 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語であいさつをしたり，教師の質問に答えたりする。 <p>T : Good morning, everyone. S : Good morning, ~先生. T : How are you? S : I'm fine, thank you. And you? T : I'm fine, thank you. How's the weather today? S : It's (sunny) and (hot). T : What day is it today? S : It's (Wednesday). T : What time is it? S : It's ○○a.m.</p> | <ul style="list-style-type: none"> 児童の英語への意識を高めるために，あいさつ，気分や天気，曜日などを教師が英語で尋ね，答えさせる。 | |
| <p>2 Small Talk : ほしいもの</p> <p>(1) 前時のふり返しを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; display: inline-block;">Small Talk</p> </div> <p>(2) 教師とやり取りし，見通しをもつ。</p> <p>(3) 児童同士でやり取りする。(1回目)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>あいさつ A : Hello. B : Hi. A : How are you? B : I'm ~ and you? A : I'm ~. Let's talk about "want". B : OK.</p> <p>ほしいもの A : I want a game. B : You want a game. くり返し What game do you want? さらに質問 A : I want ○○. B : You want ○○. くり返し That's nice. 一言感想 A : What do you want? B : I want a book. A : You want a book. くり返し Why? さらに質問 B : I like books. A : You like books. くり返し I see. 一言感想</p> <p>あいさつ A : Nice talking to you. B : You, too.</p> </div> <p>(4) 活動を想起する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 前時のふり返しを紹介し，努力しようとしている姿勢を褒めたり，難しいという気持ちに共感したりして，活動への意欲をもたせる。 活動の見通しをもたせ，既習表現や対話方略に気付かせるために，教師が数名の児童とやり取りする。(① - ア) 個人とのやり取りだけでなく，対話をしていない児童を巻き込むことで，気付きを促す。(① - ア) 児童の言い間違いを正しく言い直したり，児童が理解しやすい英語に言い換えたりして話す。(① - イ) 友達の表現を参考にしたり，自分が上手く言うことができない単語や表現に気付かせたりするために，2人の児童とSmall Talkを行わせる。(② - ア) | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 児童が困ったことや難しかったことを引き出し，できるだけ児童の言葉で表現させ，言語面の確認を行う。(③ - イ) | |

| | |
|---|---|
| <p>(5) 児童同士でやり取りする。(2回目)</p> <p>(6) ふり返りを行う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 対話方略を使い、さらに質問ができたかを確認し、2回目の活動で意識させる。(③-ア) 想起しようとしたことや挑戦しようとしたことを大いに認め、児童の意欲を向上させる。 できなかった部分をうまく言ったり、使えなかった表現を使ったりすることができるように、同じテーマでくり返しSmall Talkを行わせる。(④-ア) 次時への活動につなげるために、自己評価させ、できたことや難しかったことをふり返らせる。 |
| <p>3 学習課題の提示</p> <p>(1) 前時のふり返りを行う。</p> <p>(2) 本時の学習課題を知る。 T : What would you like for lunch? S1 : I'd like spaghetti. T : You'd like spaghetti. OK. T : What would you like for lunch? S2 : I'd like rice and miso soup. T : You'd like rice and miso soup. I see.</p> | <ul style="list-style-type: none"> 前時の児童のワークシートからふり返りを紹介し、良い気付きや難しかったことを共有させる。 既習内容を思い出させ、本時の学習課題に気付かせるために、副読本のイラストを見せ、お昼ご飯に食べたいものを何人かの児童に尋ねる。 |
| <p>自分のためのオリジナルメニューを伝え合おう。</p> | |
| <p>4 慣れ親しむ活動</p> <p>(1) P64・65の単語を練習する。</p> <p>(2) Let's Chant</p> | <ul style="list-style-type: none"> 新出単語に慣れるために、イラストを見せながら、繰り返させた後、児童だけで発音させる。 丁寧な言い方やリズムを思い出させるために、音声に合わせて練習させる。 |
| <p>5 コミュニケーション活動</p> <p>(1) 自分のためのオリジナルメニューを考え、ワークシートに記入する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">Small Talk</p> </div> <p>(2) 教師とやり取りし、見通しをもつ。</p> <p>(3) 児童同士でやり取りする。(1回目)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>あいさつ A : Hello. B : Hi. Let's talk about "Lunch menu". B : OK.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Lunch menu (例) A : I want ramen, gyoza, rice ball, icecream and soda pop. B : You want ramen, gyoza, rice ball, icecream and soda pop. くり返し That's nice. 一言感想 How much? さらに質問</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> メニューを自由に考えさせるために、選択する数に制限はかけない。 1000円以上は未習のため、1000円より少ない値段で決めさせる。 活動の見通しをもたせるために、数名の児童とやり取りする。(①-ア) 個人とのやり取りだけでなく、対話をしていない児童を巻き込むことで、気付きを促す。(①-ア) 児童の言い間違いを正しく言い直したり、児童が理解しやすい英語に言い換えたりして話す。(①-イ) 友達表現を参考にしたり、自分が上手く言うことができない単語や表現に気付かせたりするために、2人の児童とSmall Talkを行わせる。(②-ア) |

| | | |
|---|--|--|
| <p>A : It's 500 yen. B : 500 yen!? くり返し That's great. 一言感想 A : What do you want? B : I want spaghetti, salad, corn soup, cake, coffee. A : You want spaghetti, salad, corn soup, cake, coffee. くり返し That's good. 一言感想 B : It's 800 yen. A : I see. 一言感想</p> | | |
| <p>あいさつ A : Nice talking to you. B : You, too.</p> <p>(4) 活動を想起する。</p> <p>(5) 児童同士でやり取りする。(2回目)</p> | <ul style="list-style-type: none"> 児童が困ったことや難しかったことを引き出し、できるだけ児童の言葉で表現させ、言語面の確認を行う。(③ - イ) 対話方略が使えるかを確認し、2回目の活動で意識させる。(③ - ア) 想起しようとしたことや挑戦しようとしたことを大いに認め、児童の意欲を向上させる。 できなかった部分をうまく言ったり、使えなかった表現を使ったりすることができるように、同じテーマでくり返しSmall Talkを行わせる。(④ - ア) | |
| <p>6 ふり返り・あいさつ (1) ふり返りカードに分かったことやできるようになったこと、疑問に思ったことなどを書く。</p> <p>(2) あいさつをする。 T : That's all for today. Good bye, everyone. S : Good bye, ~先生. T : See you, next Friday.</p> | <ul style="list-style-type: none"> 今日の授業でできるようになったことや、疑問に思ったことなどを自覚させる。 自分にはない視点でふり返り、学習内容をより深めることができるよう、数名の児童に発表させる。 | |

板書計画

| | | |
|--|--|---|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px; text-align: center;">Big Voice</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px; text-align: center;">Speak Clearly</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px; text-align: center;">Big Smile</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px; text-align: center;">Reaction</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px; text-align: center;">Eye contact</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 2px; text-align: center;">Gesture</div> | <p>自分のためのオリジナルメニューを伝え合おう。</p> <p>What do you want?</p> <p>I want ~.</p> <p>What would you like?</p> <p>I'd like ~.</p> <p>How much?</p> <p>It's ~ yen.</p> | <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <p>絵カード</p> </div> |
| <p>Today's menu 1 あいさつ 2 Small Talk 3 慣れ親しもう！ 4 コミュニケーション活動 5 ふりかえり 6 あいさつ</p> | | |

| 学習活動 | 指導者の支援及び指導上の留意点 | 評価規準 (評価方法) |
|--|--|----------------|
| <p>1 あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語であいさつをしたり、教師の質問に答えたりする。 <p>T : Good morning, everyone. S : Good morning, ~先生. T : How are you? S : I'm fine, thank you. And you? T : I'm fine, thank you. How's the weather today? S : It's (sunny) and (hot). T : What day is it today? S : It's (Friday). T : What time is it? S : It's ○○a.m.</p> | <ul style="list-style-type: none"> 児童の英語への意識を高めるために、あいさつ、気分や天気、曜日などを教師が英語で尋ね、答えさせる。 | |
| <p>2 Small Talk : ほしいもの (1000円以内)</p> <p>(1) 前時のふり返しを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">Small Talk</p> </div> <p>(2) 教師とやり取りし、見通しをもつ。</p> <p>(3) 児童同士でやり取りする。(1回目)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>あいさつ A : Hello. B : Hi. A : How are you? B : I'm ~ and you? A : I'm ~. Let's talk about "want". B : OK.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ほしいもの A : I want stationaries. B : You want stationaries. くり返し What stationary do you want? さらに質問 A : I want a pen. B : You want a pen. くり返し That's nice. 一言感想 A : What do you want? B : I want cards. A : You want cards. くり返し What card do you want? さらに質問 B : I want a ○○ card. A : You want a ○○ card. くり返し I see. 一言感想</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>あいさつ A : Nice talking to you. B : You, too.</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> 前時のふり返しを紹介し、努力しようとしている姿勢を褒めたり、難しいという気持ちに共感したりして、活動への意欲をもたせる。 活動の見通しをもたせ、既習表現や対話方略に気付かせるために、教師が数名の児童とやり取りする。(① - ア) 個人とのやり取りだけでなく、対話をしていない児童を巻き込むことで、気付きを促す。(① - ア) 児童の言い間違いを正しく言い直したり、児童が理解しやすい英語に言い換えたりして話す。(① - イ) 友達の表現を参考にしたり、自分が上手く言うことができない単語や表現に気付かせたりするために、2人の児童とSmall Talkを行わせる。(② - ア) | |

| | | |
|--|---|--|
| <p>(4) 活動を想起する。</p> <p>(5) 児童同士でやり取りする。(2回目)</p> <p>(6) ふり返りを行う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童が困ったことや難しかったことを引き出し、できるだけ児童の言葉で表現させ、言語面の確認を行う。(③-イ) ・ 対話方略が使えたかを確認し、2回目の活動で意識させる。(③-ア) ・ 想起しようとしたことや挑戦しようとしたことを大いに認め、児童の意欲を向上させる。 ・ できなかった部分をうまく言ったり、使えなかった表現を使ったりすることができるように、同じテーマでくり返しSmall Talkを行わせる。(④-ア) ・ これまでの活動を自己評価させ、できるようになったことや、これから頑張りたいことなどをふり返らせる。 | |
| <p>3 学習課題の提示</p> <p>(1) 前時のふり返りを行う。</p> <p>(2) 本時の学習課題を知る。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の児童のワークシートからふり返りを紹介し、良い気付きや難しかったことを共有させる。 ・ 前時との目的の違いを把握させるために、前時の活動を思い出させ、本時は自分のためでなく先生のためのメニューを考えることを伝える。 | |
| <p>先生のためにランチを用意しよう。</p> | | |
| <p>4 慣れ親しむ活動</p> <p>(1) Let's Chant</p> <p>(2) 丁寧にほしいものをたずねたり答えたりする言い方や値段をたずねたり答えたりする言い方を確認する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 丁寧な言い方やリズムを思い出させるために、音声に合わせて練習させる。 ・ 既習事項を思い出させ、自信をもって表現させるために、全体で発音を確認した後、2つのグループに分けて練習させる。 | |
| <p>5 コミュニケーション活動</p> <p>(1) 先生のためのオリジナルメニューを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 先生に質問して、メニューを考えるヒントを得る。 <p>(2) シェフ(5グループ)と客に分かれ、オリジナルメニューを完成させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 客はシェフの元へ行き、ほしい食べ物を注文する。 ・ シェフは注文された食べ物を客に渡す。 <p>(3) 完成したオリジナルメニューを先生に渡し、値段を伝える。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ メニューを自由に考えさせるために、選択する数に制限はかけない。 ・ 既習事項を想起したり、意欲的に活用させたりするために、先生に聞きたいことを考えて質問させる。 ・ 自分が得た情報を用いることで、相手意識をもってメニューを考えさせる。 ・ 児童が実際の場面をイメージしながら活動に取り組むことができるように、2つのグループに分け、役割を決める。 ・ 児童の意欲を高めるために、食べ物シールを用意し、実際にやり取りさせる。 ・ 値段をたずねたり答えたりする言い方を理解しているか確認するために、自分の設定した値段を答えさせる。 | |
| <p>6 ふり返り・あいさつ</p> <p>(1) ふり返りカードに分かったことやできるようになったこと、疑問に思ったことなどを書く。</p> <p>(2) あいさつをする。</p> <p>T: That's all for today. Good bye, everyone. S: Good bye, ~先生. T: See you, next Wednesday.</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの学習でできるようになったことや、疑問に思ったことなどを自覚させる。 ・ 自分にはない視点でふり返り、学習内容をより深めることができるよう、数名の児童に発表させる。 | |

板書計画

| | | | |
|-------------|---------------|---|------|
| Big Voice | Speak Clearly | 先生のためにランチを用意しよう。 What would you like? I'd like ~. How much? It's ~ yen. | 絵カード |
| Big Smile | Reaction | | |
| Eye contact | Gesture | | |

Today's menu

- 1 あいさつ
- 2 Small Talk
- 3 慣れ親しもう!
- 4 コミュニケーション活動
- 5 ふりかえり
- 6 あいさつ